



かわにし

議会だより

平成19年 6 月定例会

目次
INDEX

- 議会の新体制 2 - 3
- 町政をただす 4 - 7
- 補正予算・条例・スポット 8 - 9
- 町民の声 10



緑と愛と丘のある町

● 発行 / 山形県川西町議会 ● 編集 / 議会広報特別委員会

〒999-0193 山形県東置賜郡川西町大字上小松1,567 TEL 0238 (42) 2111
HP <http://www.town.kawanishi.yamagata.jp>



今年も夏が来た

協働のまちづくりへ

新体制で議会活性化をめざす

議長に金子一郎議員 副議長に斎藤修一議員を選任



斎藤修一 副議長



金子一郎 議長

議長就任あいさつ

この度、議長職をお受けすることになりました。私にとりまして誠に光栄でありますと共に、その責任の重さを感じているところでもあります。

もとより力不足ではありますが、副議長をはじめ議員各位にご指導ご鞭撻をいただき、町当局と共に、町勢進展に努めてまいりますので、町民皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。さて、この度から議員定数が4減となりました。行財政改革の中での議会の判断であり、また、時代の要請でもありました。

限られた枠のなかで、この厳しい行政環境を乗り切るには、まず議会がその役目を十分に果たすことはもちろんであります。今まで以上に政策提言や政治活動等を通して、その場しのぎにならないようしっかりと将来を見据えた方向づけ、その環境づくりが大事と思っております。

それには町民の皆様が何を考えどう思いかを把握し、それをいかに議会に反映させるか心してまいりたいと思っております。

前期2年が
スタートする

5月1日、改選後初めて第1回臨時議会が開かれ、議長・副議長の選挙を行った結果、投票総数15票中、14票を獲得した金子一郎議員が新議長に、また、副議長に13票を獲得した斎藤修一議員がともに選任された。また、議会の申し合わせにより議員はそれぞれの委員会に所属し、各委員会の正副委員長を互選、引き続き、置賜広域行政事務組合議会議員及び置賜広域病院組合議会議員を選出し、新体制で任期前半2年の議会活動がスタートした。

◎置賜広域事務組合

議会議員

金子一郎

高橋輝行

高梨勇吉

◎置賜広域病院組合

議会議員

金子一郎

佐々木賢一

加藤俊一

総務文教常任委員会

委員長 高橋 建一
副委員長 高梨 勇吉
委員 高橋 忠
島貫徳右エ門
加藤 俊一
高橋 照夫
橋本 欣一

▽町の総務、改革推進、協働のまちづくり、住民生活、税務収納、教育文化、出納検査、消防本部及び消防署の各課、議会、監査に関する事務、選挙管理委員会並びに他の常任委員会に關しない分野を担当。

今後の活動

○高度情報化に関する先進地調査



産業厚生常任委員会

委員長 黒澤 巖
副委員長 淀 秀夫
委員 高橋 輝行
佐々木賢一
斎藤 修一
斉藤 智志
遠藤 章一

▽町の産業振興、地域整備、健康福祉課の事務全般、特に健康福祉や道路、産業活動など、暮らしに係わる分野を担当。



今後の活動

○NPOが関与する産業振興などの行政調査。
○要望書に関する現地調査。

議会運営委員会

委員長 島貫徳右エ門
副委員長 高橋 照夫
委員 佐々木賢一
黒澤 巖
高橋 建一

▽議会全体の運営を円滑にするための議会運用や会議規則の取りまとめ、議会の会期日程など議会運営全般にわたる内容の事前協議を行うことや、議長の諮問に関する事務を検討する。

議会広報特別委員会

委員長 高橋 照夫
副委員長 斉藤 智志
委員 佐々木賢一
高橋 建一
遠藤 章一
橋本 欣一

▽議会活動の状況を広く町民に知らせるとともに、町政への関心を高め、あわせて町議会に対する認識と自治意識の高揚をはかり、町政発展に寄与することを目的とする。



町政をたす 一般質問

合併問題、住民投票はどうなったのか

町長 合併協議の推移を見ながら検討していく



高橋輝 行議員

高橋 3年前広域市町村合併実現を目指し町長選挙に立候補した。「合併をしなければ、町の将来はない」その基本的な考え方は、今日も変わらな。町長は、選挙公約に合併問題は説明責任を果たすと共に、選択肢を明らかにし、住民投票などで町民の意志を尊重するとしたが、どのように説明責任を果たしたのか。住民投票についてはどうなったのか。

町長 平成16年の立候補にあたり、合併について特例法期限内の成立をめざし住民投票による町民の意志を尊重することを公約した。現在、合併の

特例等に関する法律に基づき山形県では市町村合併推進構想を策定し、合併議論を本格化させたいとしている。合併は相手があつて成り立つこと。これまでの経過を踏まえると新たな動きが起きにくい環境にあることも事実である。昨年度末に置賜総合支庁の呼びかけにより、3市5町の首長の議会議長並びに置賜地区の県議会議員の代表が、一堂に会し、「置賜地域の将来を考える懇談会」が設置され、今後の進展により認識が深まっていくものと考えている。今後、合併の気運が高まり町民の最終的な意志を尊重するための住民投票については、合併協議の推移を見ながら検討していく。

高橋 2月号の町報で、「収入の大きな柱である地方交付税が大幅に減額されたことにより、川西町分の地方交付税を見ると平成12年度に47億円

あつたものが、この18年度は32億円まで減額。6年の間に3分の1もカットされずさまじい削減。」と述べている。収入の減少が今後も推移するならば抜本的な建て直しが求められ、今まで国がやっていたものを、地方に事務移譲され、専門性が必要となる。小さな地方公

共団体では無理ではないかと考えるかどうか。このような状況から脱却するには、合併して体力をつけることが必要と思うかどうか。

町長 財政状況については、機会ある度に報告してきた。財政構造は大きく地方交付税に依存しており、交付税削減が本町

の財政運営に大きな影響を及ぼすことは指摘のとおりだ。町報2月号で、地方交付税の削減の状況に触れたが、三位一体改革による厳しい状況を理解頂きたいと思い掲載した。今後も、地方と中央の格差が一層拡大すると思うが、格差是正のため、国に対し強力に要請する。

山形県のホームページより



どのようなまちづくりを進めるのか

町長 財政健全化を図り協働のまちづくりを進める



橋本 欣一 議員

橋本 地方自治法にうたわれている「住民の安全と健康、そして福祉を守る」を基本にしながら第4次川西町総合計画をどう具体的に実行に移すのかが問われている。重要課題の中から特に

- ① 地方交付税の削減の中での財政問題をどうしていくのか。
- ② 年々続く人口の減少をどうしていくのか。
- ③ 協働のまちづくりにおける住民参加意識の喚起をどう進めるのか。

町長 ①歳入の54%を占める地方交付税の削減は大きい影響を及ぼしている。また、一般財源の減少も大きく、厳しい状況

にある。「集中改革プラン」を中心に事業の見直し、収納強化などを図り、歳入歳出の構造を見直し、健全な財政運営に努める。

②今後も減少傾向は予想されるが町民と行政がそれぞれ自働しパートナーとして協働する仕組みを構築し、人を呼び込む力を高め若者が魅力を感じる町に発展させる必要がある。

③地区担当職員を配置し企画段階から住民の方に参加していただいている。しかしまだまだ理解が進んでいない、地域づくり協議会と共に座談会等で説明・意見交換していききたい。

橋本 人口減少では特に、若者の減少が目立つが、若者が安心して暮らせる町づくりを進めるために子供の医療費の無料化の年齢の引き上げなど図るなどを要望する。

定率減税廃止の影響は

橋本 6月からの住民税定率減税の廃止による影響について、とくに高齢者や低所得者にとっては住民税定率減税が廃止されると、連動して国保税や介護保険料が増加して負担が大きくなり、ますます生活が大変になるが、払いきれずに収納率の低下につながるのか。また救済措置の考えは。

町長 増加分は約2、200万円で6、933人が該当し、単純平均で3、186円の負担増となる。課税対象者にとっては大いに影響がある。今後とも理解を得ながら収納率の低下につながらないよう努力する。

救済措置は特に考えていない。現行制度内での条例上規定している災害等による納期限の延長措置、あるいは納税相談等で生活困窮者に対しては分納措置などを引き続き

継続していく。町民の皆様への周知については十分配慮していきたい。

橋本 町民にとっては2、200万円の負担増である。課税されると年金だけでなくの生活者などは非常に大変になる。ぜひ、救済措置を、検討していただきたい。

6月1日現在			
発生件数		65	件
傷者数		82	名
死亡者数		1	名
死亡事故0日数		39	日
飲酒運転検挙件数			件
5月現在の人口と世帯数			
人口	男女計	8999	名
	男女計	9446	名
	男女計	18445	名
世帯数		5432	世帯
川西町			

「どうする！人口対策！」

羽前小松駅舎をコミュニティーステーションに

町長 運営・施設整備のあり方を検討する



齊藤 智志 議員

ながら、且つ、町民の手によって、建設委員会を立ち上げ計画を策定すべき。実施年度は、平成22年度から27年の早い時期の完成を目指すべき。

ではないか。町長 センターの役割は、地区民自らの手で行える活動や地域づくりを進めるもの、地域でできるものは地域で、町はそのことを支援する。町の役割は、産業の振興や生活環境の改善、福祉・教育環境の充実などであり、町は、引き続き責任を持つ。

それらの団体に対する支援はどう考えているのか。町長 7地区に、地区計画の策定と地域づくりをお願いしている。今後は、町や地区という枠を越えて活動を実践する団体や

NPO法人、町外の個人や団体にも参画していただきたい。協働のパートナーとしての役割分担とその育成支援についても今後検討したい。

齊藤 川西町は、小松駅舎の全面改築を行うべき。駅舎は東西自由通路を有するものとし、各種団体の事務局を置き、農産物や町内で生産する商品の販売を行う物産館の機能を有するものとすべき。

あやまりのない協働のまちづくりを

齊藤 各地区センターは、2年後発足。町の下請けでは、との不信も出される懸念がある。センター

は、町のミニ版であってほならない。協働の町づくりは、行政と町民の信頼関係の上のみ成り立つ。町の役割と町民の役割を明確に示し、丁寧な住民周知と議論が必要で

町長 議会の役割は、地域のニーズや課題を把握し行政施策への提言を行うこと。各議員からは、幅広い見地から本町発展のためご指導賜りたい。

齊藤 町の支援は7地区だけに限定したのではなく、地区を越えて組織されようとする団体・NPO法人等も重視すべき。

また、小会議室や小ホール等を設置し、町内のサークルや若者が集える場とし、情報の収集や発信のできる施設とすべき。合せて、その周辺を活用しながら奉賛獅子踊り等を復活させ、様々なイベントを企画しながら元気の出る町にすべき。

事業の推進は、町の財政事情を考慮し、多くの団体や個人の協力を得な

齊藤 町の支援は7地区だけに限定したのではなく、地区を越えて組織されようとする団体・NPO法人等も重視すべき。



いつもありがとう置農のみなさん

少子化時代における教育環境をどうする

町長 地域住民の意見を伺い検討する



遠藤 章一 議員

遠藤 国の教育再生会議による教育再生2次報告の最終案がまとまり、この内容はゆとり教育について根本的に見直されようとしているが、本町として今後ゆとり教育をどのように考えていくのか。教育長 教育基本法における教育の目的は、学力の向上、豊かな人間性の涵養、社会力の育成等々が大切であり、その実現に向けたバランスの取れた指導が肝要と考えている。今後、本町の教育方針を検討するに当たっては、基本理念を意識し、持続可能な教育のあり方を構築していきたい。

遠藤 小中学校の児童生徒が急速に減少する中、心身ともに健康で学力優秀な子供達を育てるため学校や学級の規模を適正に維持することが肝要と考える。本町の考える適正規模とは。町長 学校学級の適正規模については、切磋琢磨し学力向上を目指し、人間関係が固定化せず、人間関係の基礎を身につける機会を確保すること等の環境の整う程度の児童生徒が必要と考える。具体的には1学級30名程度、1学年2〜4学級が適切であると考えている。



絵本は楽しいな!!

町長 計画書に記載されたスケジュールからは若干遅れているのか伺いたい。町長 計画書に記載されたスケジュールからは若干遅れている。今後、地域住民の意向をできる限り反映させて行うことが重要である。地区ごとの座談会開催や各般にわた

る意見聴取機会を持ちながら、教育環境の整備に努めたい。校舎等の跡地利用は、現行制度の状況を精査し、地域の意向を伺いながら検討していきたい。通学区の見直しは、

地域にとって重要な課題であるが、児童生徒数が減少傾向のなか、教育の機会均等と教育水準の維持向上を確保するためにも子どもや住民の皆さんの期待に応えられるよう取り組んでまいりたい。

預かり保育の充実

遠藤 今年度から町内全ての幼児施設で預かり保育を実施したが、更なる保育時間の延長は考えられないか。また、学童保育を各地区に整備することはできないか。

町長 預かり保育時間帯については、利用状況を見ながら一層良質な保育サービス提供に努めたい。学童保育についても需要を把握しながら検討したい。支援策を充実させ、他に誇れる子育て環境の整備に努めたい。

新エネルギー導入に 2億4819万円

フレンドリープラザを雪冷房

補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ2億7387万7千円を追加し、予算総額を76億6387万7千円とするもの。

歳出の主なものは、新エネルギー施設整備事業2億4819万1千円、除雪委託料5720万円、花丘町下小松線道路改良事業858万1千円、フレンドリープラザ公演委託料330万円、介護保険事業特別会計繰出金127万3千円などの増額。職員給与等3973万9千円、下水道事業特別会計繰出金1009万9千円等、職員の異動に伴う人件費の調整や期末手当の改正による減額。



老人保健

歳入の主なものは、地域新エネルギー導入促進事業補助金7659万1千円、新エネルギー導入に伴い新エネルギー施設整備事業債(町債)1億7160万円、花丘町下小松線道路改良へ地方道路整備臨時交付金440万円、道路整備事業債(町債)420万円等増額。

老人保健

歳入歳出それぞれ5273万5千円を追加し、総額を20億7146万1千円とするもの。歳出は、一般会計繰出金4200万1千円、国庫支出金返還金などその他還付金1067万8千円などの増。

歳入は、医療費国庫負担金過年度精算金、前年度繰越金の増によるもの。
全員賛成により可決

下水道

歳入歳出それぞれ1009万9千円を減額し、総額を7億6378万3千円とするもの。職員の異動に伴う人件費の減額によるもの。

介護保険

歳入歳出それぞれ2411万8千円を追加し、総額を14億9732万5千円とするもの。歳出は、国庫支出金等返還金の額の確定による

条例

川西町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正に準じ、各種選挙執行に係る選挙長等の報酬額を改定するもの。物価変動、公務員給

ものが主である。歳入は、前年度繰越金が増である。
全員賛成により可決

水道

配水管の更新工事予定量を1066万円追加し総額1億2257万4千円とし、布設替工事について新規に844万8千円を加えるもの。収益的収入、支出予定額について職員手当、委託料など23万1千円を追加するもの。

表紙の写真



北斗幼稚園に今年も夏がきた。大塚幼稚園時代と比較し園児の数は大幅に減少している。しかし、水遊びを楽しむ園児の姿には何の変化もない。すみきった笑顔は今日の青空と同じである。私たち大人社会は、この子たちに何を残せるだろうか。地球温暖化や少子高齢社会等々、様々な分野における変化、子供たちはどこへ向うのか。大人たちの責任が問われる。

社会力で子供たちの笑顔を守ろう。

議会広報委員会は、写真をお返し、子供たちのメッセージを贈ります。ご意見をお寄せ下さい。

雪冷房システムを導入 温暖化に歯止め

本町では平成17年度「地域新エネルギービジョン」を策定し、18年度には導入に向けて庁内で検討を進めてきた。

検討されたのはプラザとまどかの雪冷房・太陽光発電だが、プラザの冷房装置の更新に合わせて雪冷房システムを導入することとしたもの。

地球温暖化対策は、サミットでも主要議題とされ、映画「不都合な真実」は温暖化による環境負荷に対する警告として衝撃的に受け止められている。

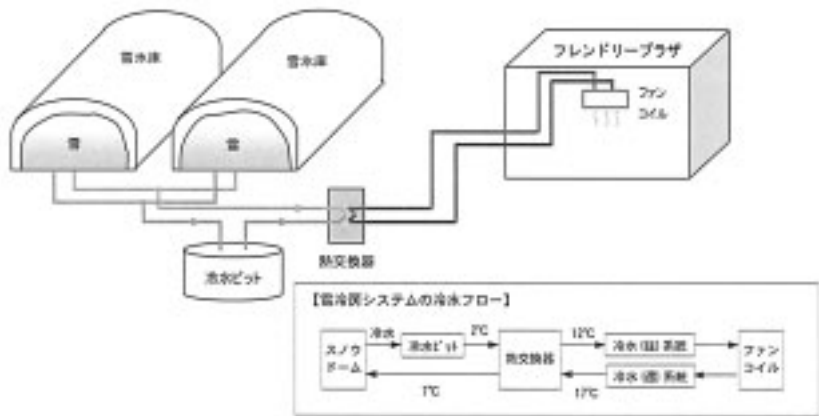
国では、温暖化対策として独立行政法人「新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)」の補助事業により、雪冷房・太陽光発電や木質バイオマスなど、新エネルギー活用を自治体に呼びかけている。

本町が導入する雪冷房システムは、総事業費2億4819万円で、

その内7659万円が補助金、1億7160万円は過疎債が100%充当される。

議会では、スノウドームが美女木住宅地に隣接する公共エリアに設置されることから、地域景観や、貯雪庫の意匠に充分配慮することの意見を付した。

スポット



スノウドームによる雪冷房システムの仕組み

20年度 完成予定 花丘町 下小松線

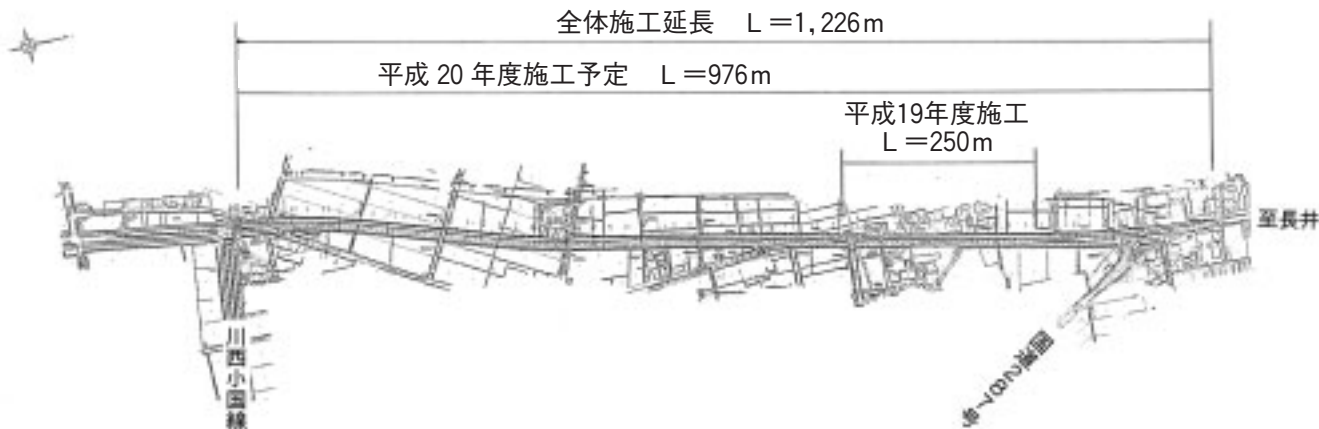
県道川西小国線と国道287号を結ぶ「花丘町下小松線」の道路改良が進められている。延長は1225.8mで、これまでに用地買収、補償が終わり、19年度は8300万円の工事費によって改良、一部舗装が実施される。

花丘町下小松線は、西回りバイパスの一部を担い、早期着工が求められていた。町では、単独事業によって施工することとし、20年度の完成を目標にしている。

総事業費は4億円、内国補助金は55%で、町負担分は過疎債が適用になる。昨年度までの実績は測量設計費1800万円、用地補償費7900万円、本工事費2500万円となっており、本工事の進捗率は、9.1%。

今年度の工事は、改良工事6100万円、舗装工事2200万円の予定であり、来年度の完成が期待される。

花丘町下小松線道路改良工事



この仕事をしてて 良かった!!

犬川 安部 真由美



出合いは宝物

「手に職をつける」と軽い気持ちで選んだ美容師の道ですが、この仕事に

記念日のお手伝い

様々な人生の記念日に
関わらせて頂けることも、

就き27年になります。犬川で生まれ育ち、地元の皆様可愛がって頂き、家族に支えられて続けられることに感謝しています。華やかに見える職業ですが「施術してお金を戴くこと」の厳しさと責任の重さを日々実感しています。と同時に喜びもとても大きいです。「今日はリフレッシュできたよ」と言ってもらえると嬉しい気持ちになり、私の店を癒しの場所を選んで時間をかけて下さるお客様との出合いは大切な宝物。

この仕事の素晴らしさだと思っています。七五三のお祝いの支度をさせて頂いた娘さんが成人式を迎え、その手伝いができる時、結婚式や入学卒業などのお祝いの日に必要としてもらえる時は、幸せを分けてもらっているようで喜びを感じます。大切な人との別れを送る日の支度をさせて頂けることも私にとって大事な仕事です。

笑って過ごす ことが栄養剤

家族の方々と長くお付き合いできるのは、同居世帯の多い我が町だからこそだと思います。お母さんと一緒に来ていた娘さんが、今度は自分の子供を連れて来店してくれる様になった時や、お孫さんと一緒に来店して下さる時などは、本当に嬉しいのです。そのようなお客様に満足してもらえるように勉強も欠かせないと思います。厚生労働大臣認定の着付検定に挑戦し、学生の頃以上に頭を使っていた思いでしたが自信にもつながりました。高齢社会に対応する福祉を理解するための「ハートフル美容師研修」を受講して、

美容師に求められる新しい役割を考えさせられました。幸いなことに、川西町は県内でも早期に訪問美容の助成を実施して下さっているのです。在宅での美容サービスが可能ですが、利用者がまだ少ないようです。難しい問題ですが美容室側の努力が大事だと感じています。

編集のなごり

▼温暖化の影響により世界各地で様々な異常気象に見舞われている。今夏の天候はラニーニャ現象で猛暑とか。暑さ対策を万全に▼世界で10億人以上の人々が安全できれいな水を手に入れられないという。人間は一日2〜3リットルの水の補給が必要。私たちは蛇口をひねれば直ぐ安全できれいな水が出る。「命をくれる水、命をうばう水」。水資源を大事に▼FAO(国連食糧農業機関)は今後10年間、世界の農産物価格は、人口増やエタノールなどバイオ燃料用の穀物需要拡大などで高止まり。米は最大で1.5倍になるという▼7月12日に参議院選挙が公示される。NHKの調査によれば前回よりも非常に関心が高いとか、やはり年金問題だ。(照)

- 発行責任者 金子 一郎
- 委員長 高橋 照夫
- 副委員長 斉藤 智志
- 委員 佐々木賢一
- 〃 高橋 建一
- 〃 遠藤 章一
- 〃 橋本 欣一